射水市内遺跡発掘調査報告15

一 令和 3 年度射水市内遺跡発掘調査 —

2023年 富山県射水市教育委員会

射水市内遺跡発掘調査報告15

一 令和3年度射水市内遺跡発掘調查 —

2023年 富山県射水市教育委員会

例 言

- 1 本書は、令和3年度に富山県射水市内において射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。なお、原因者負担で実施した沖塚原東B遺跡の本発掘調査については、『沖塚原東B遺跡発掘調査報告 沖塚原企業団地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査 』2022.3.18で報告している。
- 2 発掘調査・出土品整理・報告書刊行は、国庫補助金・県費補助金の交付を受けて実施した。
- 3 調査対象とした埋蔵文化財包蔵地名及び調査位置・原因・面積・期間等は第2章に記した。
- 4 本書の執筆・編集は、射水市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 課長補佐 田中 明・主査 原田義 範が担当した。
- 5 遺物整理の従事者は、高瀬直子・吉澤泰子である。
- 6 出土遺物等への遺跡名の注記には以下の略号を記した。 鷲塚村中遺跡(WTM)、島前田遺跡(SMT)、島鉾田遺跡(SHT)、島鉾田南遺跡(SHTM)、加茂社遺跡(KMS)
- 7 発掘調査に係る出土遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会で一括保管している。

凡例

- 1 本書で用いた座標は、世界測地系第Ⅲ系に準拠した。方位は真北、水平基準は海抜高である。
- 2 遺構実測図の縮尺は、各々のスケールとともにその縮尺を表記した。遺物実測図の縮尺は土器の 1/4を基本とし、スケールとともにその縮尺を表記した。
- 3 出土遺物の番号は、遺物実測図・遺物観察表・写真図版の遺物番号にそれぞれ対応している。
- 4 本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著『新版標準土色帖』に準拠している。
- 5 第2章の調査地区図版内にある試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し、種類は次のと おり表示した。

●: 縄文土器 ○: 弥生土器 ▽: 古墳土師器 ◇: 古代土師器 ▲: 須恵器

◆: 珠洲 □: 中世土師器 ■: 中世陶磁器 ⊗: 近世陶磁器 図: 近代以降の遺物

☆: 石製品 ★: 金属製品 ◎: 木製品 ◇: その他の遺物

T: トレンチ (試掘坑)

6 遺物実測図中の土器断面及び内外面の表現は次のとおりとした。

■ : 須恵器・珠洲 : 煤・炭化物

目次

第1章	射水市の位置と歴史的環	境
第1節	射水市の位置と歴史的環境・	
第2節		調査
第2章		査
第1節	各種開発に伴う試掘調査 …	3
	一本杉A遺跡(No.1)	
	若葉町遺跡 (No.2・14)	天池B遺跡・天池B窯跡 (No.9) ······ 7
	鷲塚村中遺跡(No.4)	烏帽子形遺跡 (No.15) ······ 8
	八塚A遺跡(No.10・15)	五歩一遺跡 (No.13) ····· 9
	加茂社遺跡(No.11)	沖塚原遺跡(No.5) 10
第2節		業に伴う試掘調査(No6・7・8) 12
	3 調査の結果	

挿図目次

第2図 第3図 第4図 第5図 第6図 第7図 第8図 第9図	令和3年度埋蔵文化財調査実施箇所位置図 遺物実測図 [加茂社遺跡、荒町遺跡、烏帽子 島・上条地区試掘調査対象地及び周辺の遺跡 島・上条地区試掘調査トレンチ・検出遺構図 島・上条地区試掘調査トレンチ・検出遺構図 遺物実測図 [島前田遺跡、島鉾田遺跡]	2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	表目	次
第1表 表 第3表 第4表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5表 第5	令和3年度埋蔵文化財分布調査・工事立会調 出土遺物観察表 [加茂社遺跡、荒町遺跡、烏 島・上条地区試掘調査トレンチー覧	一覧 3 査一覧 4 帽子形遺跡] 11 … 17 島鉾田南遺跡] 19
	図版目	次
図版1	一本杉A遺跡(No.1) 試掘調査	1 T土層断面、3 T全景、3 T土層断面
図版2	若葉町遺跡 (No.2) 試掘調査	1 T全景、2 T遺構検出、2 T遺構検出
図版3	今開発遺跡(No.3)試掘調査	調査対象地全景、1 T全景、1 T土層断面
図版 4	鷲塚村中遺跡 (No.4) 試掘調査	1 T全景、1 T土層断面、出土遺物
図版5	沖塚原遺跡 (No.5) 試掘調査	調査対象地近景、調査状況、34T遺構検出
図版 6	天池 B 遺跡(No.9)試掘調査	調査対象地全景、1 丁土層断面、2 丁全景
図版7	八塚 A 遺跡(No.10)試掘調査	調査対象地全景、1 T全景、1 T土層断面 1 T全景、1 T遺構検出、出土遺物
図版 8 図版 9	加茂社遺跡(No.11)試掘調査 八塚 A 遺跡(No.12)試掘調査	1 1 至京、11 退阱快山、山上退彻 調査対象地全景、2 T全景、2 T遺構検出
図版 10	五歩一遺跡 (No.13) 試掘調査	調査対象地全景、1 丁土層断面、出土遺物
図版 11	島・上条地区 島前田遺跡 (No.6) 試掘調査	6 T調査状況、6 T弥生土器出土、7 T遺構検出
図版 12	島・上条地区 島鉾田遺跡 (No.7) 試掘調査	18 T全景、18 T弥生土器出土、19 T土層断面
図版 13	島・上条地区 島鉾田南遺跡 (No.8) 試掘調査	22 T全景、22 T土層断面、23 T遺構検出
図版 14	島・上条地区 試掘調査	島前田遺跡出土遺物、島鉾田遺跡出土遺物
図版 15	島・上条地区 試掘調査	島鉾田遺跡出土遺物、島鉾田南遺跡出土遺物

第1章 射水市の位置と歴史的環境

第1節 射水市の位置と歴史的環境

射水市は富山県のほぼ中央に位置し、市域は東西約11km、南北約15kmで面積109.44kmである。北に富山湾、中央に射水平野、南部に射水丘陵を配し、標高0~140mを測る。

富山市・高岡市と隣接し、交通の便に恵まれていることから、住宅団地造成が頻繁に行われ、ベットタウン化が進んでいる。現在の人口は約91,500人である。

市域の大部分を占める射水平野は、東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km、南北約7kmの沖積平野であり、およそ1万~8千年前に河川によって運ばれた土砂・粘土・礫などの堆積からなる。この沖積層が堆積した時代は海岸線が沖へ後退し、平野部は現在より広かったとみられるが、その後、いわゆる縄文海進期における海面の上昇によって、海岸線の内陸への進出とともに平野部が狭まり、現在の標高約5m以下は海面下に没したと考えられている。

やがて、気候の寒冷化による海岸線の後退と丘陵部から の土砂の堆積が進むと、かつての海は縮小して放生津潟 (現:富山新港)としてのみ形を残し、周辺に低湿な射水 平野が開けていった。

市域の南部に広がる射水丘陵は、新生代第三紀の青井谷 泥岩層を基盤とし、上層に礫と砂泥からなる日ノ宮互層と 太閤山火砕岩層の堆積から成る。丘陵部には、鍛冶川・下 新潟県 園間市 射水市 富山市 長野県 東 1 図 射水市の位置

条川・和田川やその支流によって河岸段丘や樹枝状の谷間が形成されている。

このような自然環境の中で、先人達は集落を形成していったと考えられる。現在、市内には460箇 所の遺跡が密集し、平野部では集落遺跡、丘陵部には生産遺跡が多く確認されている。

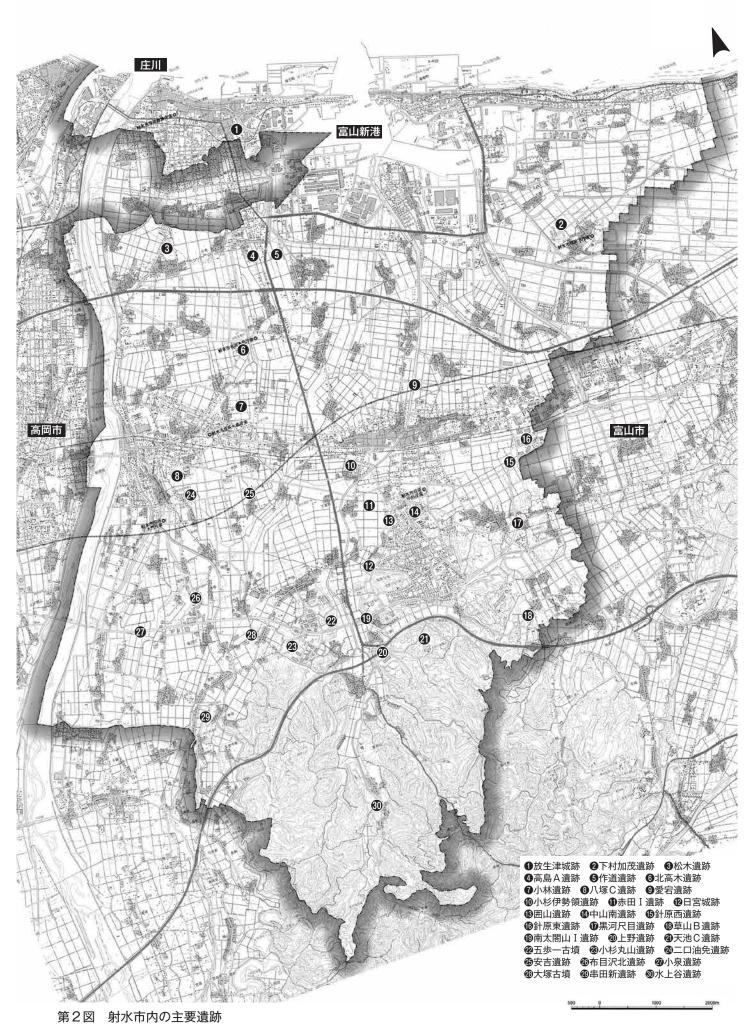
平野部では、河川に近い地域に高島A遺跡、北高木遺跡、二口油免遺跡、小杉伊勢領遺跡などの集落遺跡が分布し、竪穴建物や掘立柱建物、溝や井戸などが確認されている。生産地である丘陵部と消費地である平野部とを河川が結んで、交通路として機能していたために集落が営まれてきたと考えられている。

丘陵部では国指定史跡の小杉丸山遺跡、小杉流通業務団地内遺跡、上野南遺跡、赤坂A~D遺跡など生産遺跡が集中している。これらの遺跡は、須恵器窯跡約40遺跡、製鉄遺跡約150遺跡を数え、県内最大規模を有する。須恵器生産窯跡や鉄生産製鉄炉と炭焼窯、工人の住居や作業場が見つかり、窯や炉を築くのに適した地形、粘土や薪・水の供給源が豊富にあることが好条件であったと考えられている。

第2節 令和3年度実施の埋蔵文化財調査

令和3年度の射水市管内における各種民間開発事業に係る埋蔵文化財包蔵地の照会件数は328件であった。公共事業関連の開発事業に関しては、関係部局と協議し本発掘調査1件を実施している。

文化財保護法第93条の届出件数は49件、同第94条の通知件数は4件であり、うち、発掘調査等による 対応件数は、試掘調査が15件、工事立会調査が18件となっている。



第2章 令和3年度実施の発掘調査

第1節 各種開発に伴う試掘調査

令和3年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の発掘調査は、企業団地造成事業に伴う本発掘調査1件、試掘調査件数が15件であった。調査の原因は県営ほ場整備事業(3件)、市道改良工事(1件)、宅地造成(3件)、個人専用住宅(4件)、集合住宅(1件)といった住宅関連と店舗建設、駐車場造成、保育園建設が各1件で民間開発が73%、公共事業が27%であった。

試掘調査によって保護措置が必要となる埋蔵文化財が確認された際には、原因者に対して盛土保存や計画変更等による埋蔵文化財の現状保存を第一とし、現状保存が不可能となる場合は本発掘調査による記録保存の対応を協議で求めている。

本発掘調査

No	遺跡名	種別	所在地	調査原因	調査期間	対象面積	発掘面積	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
11	沖塚原東B (211034)	散布地	沖塚原130-1 外	企業団地造成	R33.4~11.30 (延べ154日 問)	4,500.0	4,671.2	栅址1条 掘立柱建物址2棟 井戸18基 道路址3条 土坑9基 溝37条 自然流路4条	縄文土器、弥生土器、古墳土師器、古代須恵器 中世珠洲・瓦質土器・八尾・瀬戸美濃・白色磁・青磁、地中 瀬戸美濃・白色磁・青磁、水 瀬戸大製品・磁器・水 札、漆器・磁器皿、箸ケ板 、本、根状 、本、根状 木製品、板材) 不明土製品 (土錘、土玉)、中世石製品(銀石)、中世野 製品(銀刀、鉄滓)、 中世編製品(網銭貨泉・祥符 通宝)、 中世編物製品(ザル、箕、 扇子)	工事実施

試掘調査

No.	遺跡名	種別	所在地	調査原因	調査期間	対象面積	発掘面積	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	一本杉 A (211008)	散布地	本町3丁目 16番1 外6筆	店舗建設	R3.6.28	1,357.6	14.6	なし	なし	工事実施 (支障なし)
2	若葉町 (211089)	散布地	戸破字加茂 1967番2	個人専用 住宅建築	R3.6.29	198.0	13.4	不明溝 不明土坑	なし	工事実施 (支障なし)
3	今開発 (211453)	墓	今開発474番2	個人専用 住宅建築	R3.9.30	662.0	52.6	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
4	鷲塚村中 (211070)	集落	鷲塚680番1	宅地造成	R3.10.13	947.4	30.0	弥生溝 不明溝	弥生土器 近世越中瀬戸	工事実施 (一部工事立会)
5	沖塚原 (211024)	散布地	沖塚原270番3 外5筆	市道改良	R 3.10.19 · 20	1,600.0	98.8	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
6	島前田 (211367)	散布地	島201-1 外7筆	県営ほ場 整備	R 3.10.26 · 27	18,546.0	398.3	弥生溝 不明溝	縄文土器 弥生土器 中世珠洲 近世陶磁器	整備計画と保護措 置の調整中
7	島鉾田 (211373)	散布地	島141-1 外20筆	県営ほ場 整備	R 3.10.25 ~R3.11.1	64,395.0	1,262.4	弥生溝 不明溝 不明柱穴状ピット 不明土坑	弥生土器 古代須恵器 中世珠洲 近世陶磁器	整備計画と保護措 置の調整中
8	島鉾田南 (211374)	散布地	島83-1 外3筆	県営ほ場 整備	R 3.11.1 · 2	22,270.0	313.1	不明柱穴状ピット 不明土坑	弥生土器 中世珠洲 中世土師器	整備計画と保護措 置の調整中
9	天池B (211170) 天池B窯跡 (211171)	散布地窯	南太閤山17 丁目1番地	民間保育園 建設	R3.11.16	7,182.0	83.4	なし	なし	工事実施 (支障なし)
10	八塚 A (211447)	集 落 散布地	八塚字川田278番	個人専用 住宅建築	R3.11.17	274.0	18.0	なし	なし	工事実施 (支障なし)
11	加茂社 (211088)	集 落 散布地	三ヶ2686-1	集合住宅 建築	R3.11.30	910.0	89.9	弥生溝 不明溝	弥生土器 磨製石斧	工事実施 (一部工事立会)
12	八塚 A (211447)	集 落 散布地	八塚字川田312番1 外4筆	宅地造成	R3.12.13	611.0	55.8	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
13	五歩一 (211155)	散布地	橋下条202番	駐車場造成	R4.2.28	991.0	70.2	なし (西側2/3が谷地形)	近現代陶器 不明木製品	工事実施 (支障なし)
14	若葉町 (211089)	散布地	戸破字加茂1960 番2	個人専用 住宅建築	R4.3.25	239.5	11.8	不明溝	なし	工事実施 (支障なし)
15	烏帽子形 (211014)	散布地	善光寺5番1	宅地造成	R4.3.29	875.0	35.7	なし	古代須恵器	工事実施 (支障なし)
計		13遺跡15	件	調査対象面積	121,058.5 m²		発掘面積	2,548.0m²	(延	べ調査日数 20日間)

第1表 令和3年度埋蔵文化財本発掘調査·試掘調査一覧

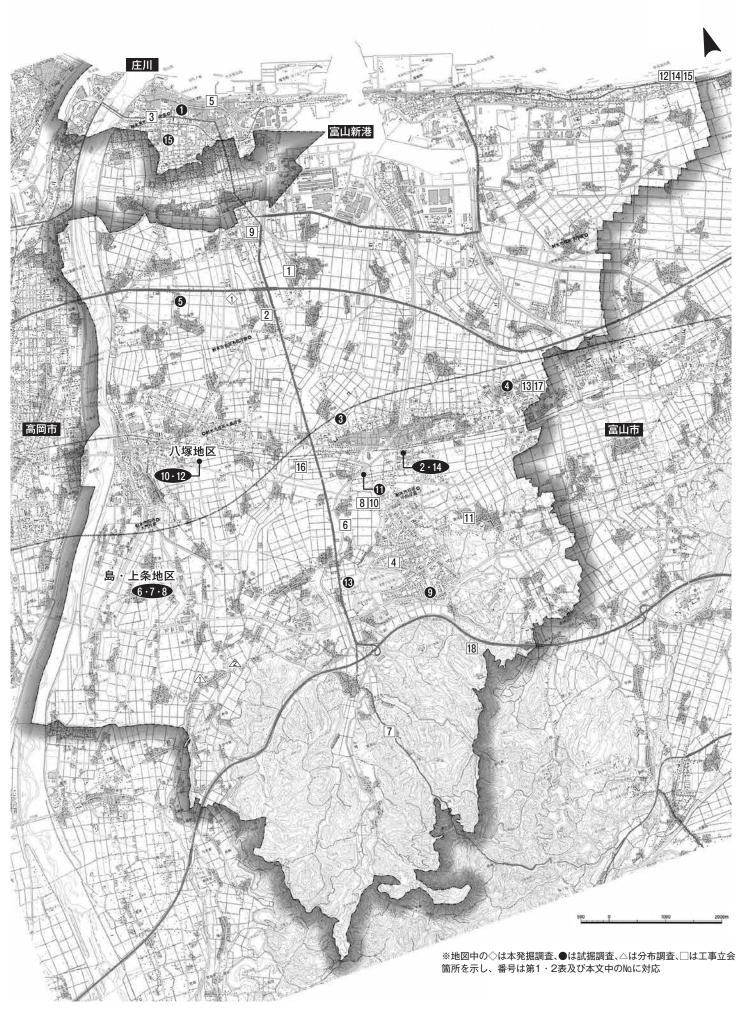
分布調査

No.	遺跡名	種別	所在地	調査原因	調査期間	調査日数	対象面積	発掘面積	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	荒町遺跡及び周辺 (211418)	散布地	荒町86番地外 313筆	県営ほ場整備 事業	R4.3.22~24	2	20,000	72.5	不明溝	弥生土器 古代須恵器 中世珠洲	約93,000㎡の範囲で 試掘調査必要 (仮)射水市内遺跡 発掘調査報告16に掲 載予定
2	円池遺跡及び周辺 (211401)	散布地			R4.3.22~24	3			なし	古代須恵器	約9,600㎡の範囲で 試掘調査必要 (仮)射水市内遺跡 発掘調査報告16に掲 載予定

工事立会

No.	遺跡名	種別	所在地	調査原因	調査期間	調査日数	対象面積	調査面積	検出遺構	出土遺物	調査後の措置
1	作道 (211030)	集落	作道字苗代 2014番1 外2筆	カーポート 建替工事	R3.5.14	1	2.2	2.2	なし	なし	工事実施
2	高木・荒畑 (211029)	集落	鏡宮620番1	携帯電話 基地局建設	R3.5.17	1	3.3	3.3	なし	なし	工事実施
3	禅興寺・長徳寺 廃寺跡 (211011)	社寺	本町1丁目 185番	携帯電話 基地局建設	R3.5.20	1	1.4	1.4	なし	なし	工事実施
4	薬勝寺池北 (211150)	散布地	中太閤山 7丁目22番	個人専用 住宅建築	R3.7.12	1	4.5	4.5	なし	なし	工事実施
5	八幡宮遺跡 (211002)	散布地	八幡町 2-2-27	記念碑 設置工事	R3.7.15	1	7.3	7.3	なし	近代瓦片	工事実施
6	下条新 (211110)	散布地	橋下条1761番	携帯電話 基地局建設	R3.8.2	1	2.0	2.0	なし	なし	工事実施
7	水上谷 (211337)	集落	野手	西部工業用水道工事	R 3.8.27 · 30	2	80.0	80.0	なし	なし	工事実施
8	赤田 I (211361)	散布地 集落	一条217番	個人専用 住宅建築	R3.9.1	1	117.3	117.3	なし	なし	工事実施
9	高島A (211027)	集落	作道288番1 外4筆	市有地売却埋設物調査	R3.10.5	1	4,225.2	4,225.2	なし	なし	支障なし
10	赤田 I (211361)	散布地 集落	一条207番	個人専用 住宅建築	R3.10.14	1	236.3	236.3	なし	なし	工事実施
11	黒河新 I (211100)	散布地	黒河新字坂前 2601番2 外19筆	宅地造成	R3.11.15	1	2,122.6	2,122.6	なし	なし	工事実施
12	本江東 (211050)	散布地 集落	かもめ台123	個人専用 住宅建築	R3.11.15	1	307.0	307.0	なし	なし	工事実施
13	鷲塚村中 (211070)	集落	鷲塚680番1	宅地造成	R 3.11.24 · 30	2	947.4	947.4	なし	近現代磁器	工事実施
14	本江東 (211050)	散布地 集落	かもめ台31	個人専用 住宅建築	R3.12.23	1	273.0	273.0	なし	なし	工事実施
15	本江東 (211050)	散布地集落	かもめ台45	個人専用 住宅建築	R3.12.24	1	272.8	272.8	なし	なし	工事実施
16	水上 (211086)	集落	三ヶ1722番	個人専用 住宅建築	R4.1.18	1	610.7	610.7	なし	なし	工事実施
17	鷲塚村中 (211070)	集落	鷲塚680番5	個人専用 住宅建築	R4.1.25	1	281.0	281.0	なし	なし	工事実施
18	赤坂E (211305)	製鉄	入会地字 赤坂50番1	携帯電話 基地局建設	R4.3.5	1	2.3	2.3	なし	なし	工事実施
			15遺跡18件			20	9,496.1	9,496.1			

第2表 令和3年度埋蔵文化財分布調査・工事立会調査一覧



第3図 令和3年度埋蔵文化財調査実施箇所位置図

【令和3年度試掘調査概要】

一本杉A遺跡 (No.1)

所 在 地 射水市本町3丁目16番1 外6筆

調査原因 店舗建設

調査期間 令和3年6月28日

調 查 面 積 対象面積:1,357.6㎡ 発掘面積:14.6㎡

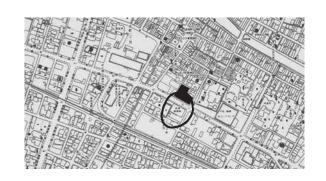
調查担当者 原田義範

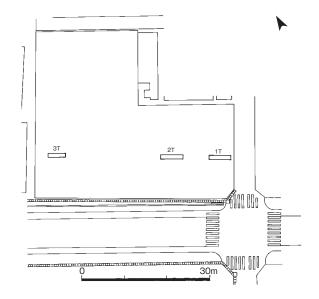
検出遺構なし出土遺物なし

調査概要

調査地は遺跡の北端に位置し、標高約1.8mの既存宅地である。基本層序は上から1層が造成盛土、2層が黒色 (N1.5/) の鉱滓による埋立土、3層が黒褐色 (2.5 Y 3/1) の旧耕作土、4層が灰色 (5 Y 6/1) シルト質土又は灰色 (5 Y 5/1) 砂の地山となる。

2層からの湧水が著しく3・4層の掘削底 面及び断面観察ができなかったため、掘削 土の状態から遺構の有無等の判断を行った。 遺構・遺物は確認できなかった。





今開発遺跡 (No.3)

所 在 地 射水市今開発474番2

調 査 原 因 個人専用住宅建築 調 査 期 間 令和3年9月30日

調 查 面 積 対象面積:662.0㎡ 発掘面積:52.6㎡

調査担当者 原田義範 検 出 遺 構 不明溝 出 土 遺 物 なし

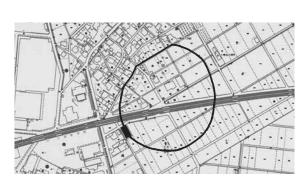
調査概要

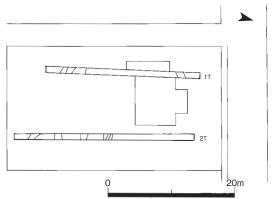
調査地は遺跡の南西端に位置し、標高 3.4 mの既存宅地及び畑地である。

基本層序は上から1層が山砂の造成盛 土、2層が黒褐色(2.5Y3/1)の旧耕作土、 3層が黒色(2.5Y2/1)粘質土、4層が黄 灰色(2.5Y5/1)粘質土の地山となる。

遺構確認は4層上面で行った。

東西方向に走る溝1条は、ほ場整備前の水路跡、その他の溝についても埋土から 近現代以降の所産と考えられる。





若葉町遺跡 (No.2·14)

所 在 地 射水市戸破字加茂1967番2 (No. 2)

射水市戸破字加茂1960番2 (No.14)

調 査 原 因 個人専用住宅建築

調 査 期 間 令和3年6月29日 (No. 2)

令和4年3月25日 (No.14)

調 查 面 積 対象面積:198.0㎡ 発掘面積:13.4㎡ (No.2)

対象面積:239.5㎡ 発掘面積:11.8㎡ (No.14)

調查担当者 原田義範

検 出 遺 構 不明溝1条·不明土坑3基 (No.2)

不明溝1条 (No.14)

出土遺物なし

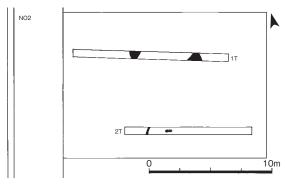
調査概要

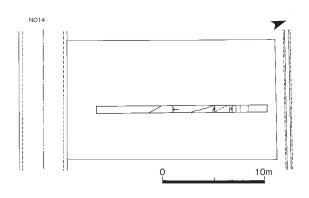
調査地は遺跡の西端及び北西端に位置 し、標高 5.1 mの既存宅地2か所である。

基本層序は、上から1層が山砂の造成盛土 $(40 \sim 70 \text{cm})$ 、2層が黒色 (10 YR 2/1)または黒褐色 (2.5 Y 3/1) 粘性土の旧耕作土 $(0 \sim 50 \text{cm})$ 、3層が黒色 (10 YR 1.7/1)土 $(0 \sim 10 \text{cm})$ 、4層が灰色 (5 Y 6/1) シルト質土または黄灰色粘質土の地山となる。遺構確認は4層上面で行った。

No. 14 の溝は幅約1 m、南北方向に走るが、埋土が3層土で時期は不明である。







天池B遺跡·天池B窯跡(No.9)

所 在 地 射水市南太閤山17丁目1番地

調査原因 保育園建設

調査期間 令和3年11月16日

調 查 面 積 対象面積:7,182.0㎡ 発掘面積:83.4㎡

調査担当者 原田義範 検出 遺構 なし

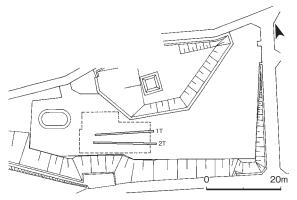
出土遺物 なし

調査概要

調査地は遺跡の中央部に位置し、標高 28.5 mの造成地である。

大規模な範囲で切り土と盛土が既に行われていて、旧地形等を確認することはできなかった。1トレンチの東半分の範囲では切土された地盤が露頭し、一部で灰白色(5Y8/1)の良質な粘土層を確認した。





鷲塚村中遺跡 (No.4)

所 在 地 射水市鷲塚 680 番1

調査原因 宅地造成

調査期間 令和3年10月13日

調 查 面 積 対象面積:947.4 m 発掘面積:30.0 m

調查担当者 原田義範

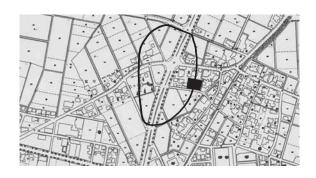
検 出 遺 構 弥生溝・不明溝

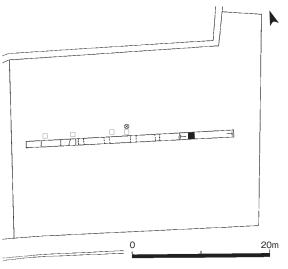
出土遺物 弥生土器・近世越中瀬戸

調 査 概 要 調査地は遺跡の東端部に位置した、標高 2.1 mの宅地である。

基本層序は、上から 1 層が黄灰色 (25Y4/1) の旧耕作土 $(30\sim50\text{cm})$ 、2 層が 1 層と 4 層土が混在する撹乱層 $(0\sim40\text{cm})$ 、3 層が黒褐色 (2.5Y3/1) 粘質土 $(0\sim30\text{cm})$ 、4 層が黄褐色 (2.5Y5/3) 粘質土の地山となる。 3 箇所で南北方向の溝を確認し、溝 1 条から弥生土器が出土している。

当該地東側の県道新設(臨港東線)の本発掘調査では、現在の集落がある微高地側で弥生時代の遺構・遺物が多数確認されており、この調査でもその広がりが一部で確認できた。





烏帽子形遺跡 (No.15)

所 在 地 射水市善光寺5番1

調査原因 宅地造成

調査期間 令和4年3月29日

調 査 面 積 対象面積:875㎡ 発掘面積:35.7㎡

調査担当者 原田義範

検出遺構 なし

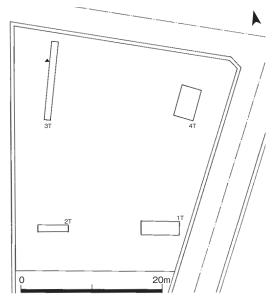
出土遺物 古代須恵器

調査概要

調査地は遺跡の北東端部に位置した、標高 1.6 mの宅地及び畑地である。

基本層序は、上から1層が山砂の盛土(30~130cm)、2層が黄灰色(2.5Y4/2)の旧耕作土(15~30cm)、3層が黄褐色(2.5Y5/1)粘質土(40~50cm)、4層が6層土の薄く堆積または混在する黄灰色(2.5Y5/1)粘質土(10cm)、5層が黒褐色(2.5Y5/2)粘質土(15cm)、6層が灰色(5Y6/1)シルト質土の地山となる。須恵器は3層土から出土。





八塚A遺跡 (No.10·12)

所 在 地 射水市八塚字川田278番 (No.10)

射水市八塚字川田312番1外4筆 (No.12)

調 査 原 因 個人専用住宅建築 (No.10)

宅地造成 (No.12)

調 査 期 間 令和3年11月17日 (No.10)

令和3年12月13日 (№12)

調 查 面 積 対象面積: 274.0㎡ 発掘面積: 18.0㎡ (No.10)

対象面積:611.0m 発掘面積:55.8m (No.12)

調査担当者 原田義範

検 出 遺 構 なし (No.10) 、不明溝 (No.12)

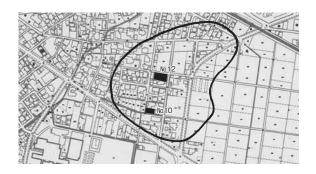
出土遺物 なし

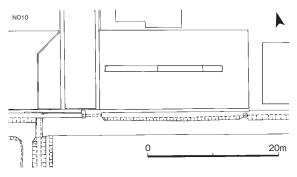
調査概要

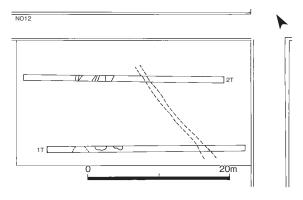
調査地は遺跡の中央部に位置した、標高 6.3 mの水田である。

基本層序は、上から 1 層が灰色 (5Y4/1) の旧耕作土 $(20\sim25\mathrm{cm})$ 、2 層が黒色 (5Y2/1) の粘質土 $(0\sim20\mathrm{cm})$ 、3 層が灰色 (5Y6/1) 砂または灰色 (5Y5/1) シルト質土の地山となる。

No. 12 調査では南北方向に走る時期不明な溝1条と幅約5.5 mの範囲で近年埋め立てられた土坑や溝を確認している。







五歩一遺跡 (№13)

所 在 地 射水市橋下条202番

調 査 原 因 駐車場造成

調査期間 令和4年2月28日

調 查 面 積 対象面積:991.0㎡ 発掘面積:70.2㎡

調査担当者 原田義範

検出遺構 なし

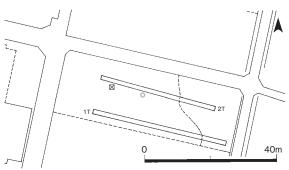
出 土 遺 物 近現代陶器·不明木製品



調査概要

調査地は遺跡の西端に位置した、標高8.6 mの水田である。基本層序は上から1層が黒褐色(10Y3/1)の旧耕作土(10~20cm)、2層が黒色(10YR2/1)粘質土(20~30cm)、3層が褐灰色(10Y5/1)粘質土の地山となる。遺構の確認は3層上面で行った。

対象地東端から $7 \sim 20$ m以西では黒色 (10YR1.7/1) 土が堆積する谷部地形を確認した。



加茂社遺跡(No.11)

所 在 地 射水市三ヶ 2686 - 1

調 査 原 因 集合住宅建築

調査期間 令和3年11月30日

調 查 面 積 対象面積:910.0 ㎡ 発掘面積:89.9 ㎡

調查担当者 原田義範

検 出 遺 構 弥生溝・不明溝

出土遺物 弥生土器・磨製石斧

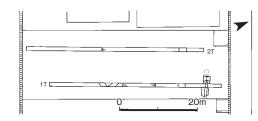
調 査 概 要 調査地は遺跡西部に位置した、標高 4.7 mの水田である。

基本層序は上から1層が灰色 (5Y4/1) の耕作土 (20cm)、2層が灰色 (5Y5/1) 土(0~40cm)、3層が明緑灰色(7.5GY7/1)

粘質土の地山となる。遺構確認は3層上面で行った。

調査地の北東端で幅 $0.7 \,\mathrm{m}$ 、長さ $3.0 \,\mathrm{m}$ 、深さ $0.45 \,\mathrm{m}$ の弥生時代の溝 1 条を検出している。この溝は以東へ続くと見られる。





沖塚原遺跡 (No.5)

所 在 地 射水市沖塚原270番3 外5筆

調査原因 市道改良

調 查 面 積 対象面積:1,600.0㎡ 発掘面積:98.8㎡

調査担当者 原田義範検 出遺構 不明溝

出土遺物なし

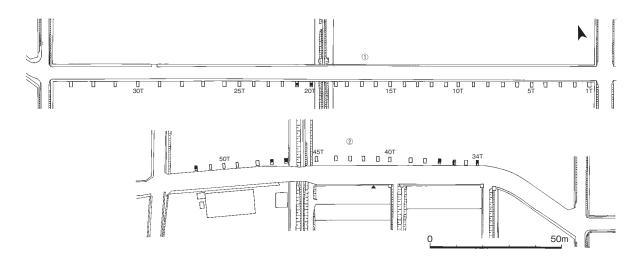
調査概要

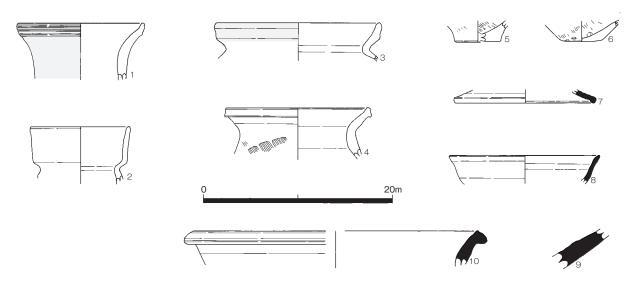
調査地は遺跡の北西部に位置した標高 $1.8 \sim 2.2$ mの水田である。基本層序は上から 1 層が暗黄褐色 (2.5 Y4/2) 粘質土の耕作土 $(20 \sim 40 \text{cm})$ 、2 層が 黒褐色 (2.5 Y3/1) シルト質土 $(0 \sim 30 \text{cm})$ 、3 層に ぶい黄褐色 (2.5 Y6/4) シルト質土の地山となる。



遺構確認は 3 層上面で行った。以前の耕地整理で切土された痕跡が $19 \sim 34$ T で顕著にみられ、34 T 以西で 2 層土が部分的に遺存する。

遺構は $20 \sim 21$ T、 $34 \cdot 36 \sim 37$ T、 $46 \sim 47$ Tで 東西方向の時期不明の溝を確認している。





第4図 遺物実測図 (1/4) 加茂社遺跡(1~6) 荒町遺跡(7~9) 烏帽子形遺跡(10)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	備考	残存量
	1	溝	弥生土器	壷	13.0			加茂社遺跡 内外面煤付着	□3/16
	2	溝	弥生土器	壷	10.5			加茂社遺跡	□1/4
	3	溝	弥生土器	甕	17.2			加茂社遺跡	□1/8
	4	1 T (溝)	弥生土器	甕	15.0			加茂社遺跡	□1/4
第4図	5	1 T(溝)	弥生土器	壷			5.0	加茂社遺跡	底1/4
- 第4凶	6	1 T(溝)	弥生土器	壷	8.0		4.1	加茂社遺跡	底3/8
	7	表採⑪	須恵器	坏蓋	14.8			荒町遺跡北側	□1/16
	8	表採⑫	須恵器	坏	15.8			荒町遺跡北側	□1/8
	9	表採⑬	珠洲	壷				荒町遺跡北側	破片
	10	3 T	須恵器	壷	(29.8)			烏帽子形遺跡	□1/16

第3表 出土遺物観察表 [加茂社遺跡、荒町遺跡、烏帽子形遺跡]

口:口縁部 底:底部

第2節 島・上条地区県営ほ場整備事業に伴う試掘調査(№6.7.8)

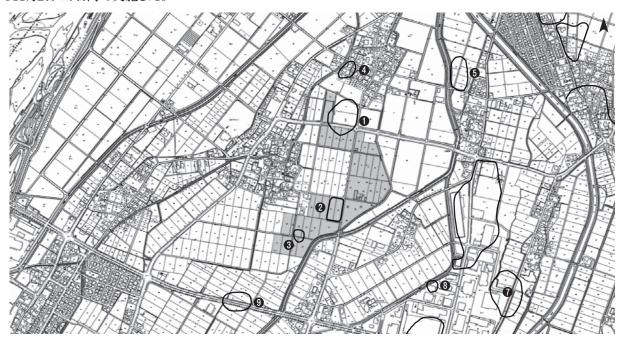
1. 調査に至る経緯と経過

令和元年10月、富山県高岡農林振興センターから、射水市島・上条地区における県営ほ場整備事業の実施に係る事前協議を受けた。事業は令和3年度から11年度までの9か年計画であり、区画整理工、用排水路工、農道工、暗渠排水工を実施し、大区画ほ場へ再整備するものである。計画面積は約50.4haである。

計画地内には島前田遺跡、島鉾田遺跡、島鉾田南遺跡が周知の埋蔵文化財包蔵地として所在するが、発掘調査実績がなく、埋蔵文化財に関する情報が皆無であった。また、過去の耕地整理による客土や切土・盛土等の地形改変も行われていた。

そのため、令和2年3月・10月に島地区を対象とした現地踏査による遺物の表面採集と旧地形の状況を確認する小規模なトレンチ掘削を併用し、周知の埋蔵文化財包蔵地を含めた旧地形及び遺構面の遺存状況を把握する分布調査を実施した。なお、上条地区の一部では、昭和9年(1934)の庄川出水による削平が確認されていることから、北牧幹線用水路より西側のほ場については調査対象外とした。

試掘調査は分布調査の結果を踏まえ、遺跡の広がりが推定された範囲105,000㎡を対象に、令和3年10月25日から11月2日の7日間で実施した。



第5図 島・上条地区試掘調査対象地及び周辺の遺跡 (1/20,000)

●島前田遺跡 ❷島鉾田遺跡 ❸島鉾田南遺跡 ❹下条A遺跡 ⑤下条B遺跡 ⑤布目沢北遺跡 ⑦布目沢東遺跡 ❸堀内遺跡 ⑤小泉遺跡

試掘調査対象範囲

2. 調査の方法

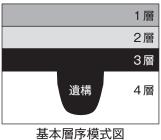
試掘調査は、ほ場整備事業地約50.4haのうち、周知の埋蔵文化財包蔵地の島前田遺跡・島鉾田遺跡・島鉾田南遺跡内及び令和2年実施の分布調査で、遺跡の広がりが推定された範囲を対象に試掘トレンチを設定した。

試掘トレンチ(試掘溝)はバックホウにより幅約 $0.9 \, \mathrm{m}$ 、長さ約 $20 \, \mathrm{m} \sim 145 \, \mathrm{m}$ のトレンチ(以下Tと略す)を現在のほ場に合わせて任意に設定し、遺構面と考えられる土層まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認するとともに、写真撮影により土層記録を作成した。トレンチは計 $26 \, \mathrm{箇所}$ で、総発掘面積は $1.973.8 \, \mathrm{m}$ である。

3. 調査の結果

(1) 基本層序 (第6·7図)

調査対象地の標高は 9.2 ~ 10.4 m、庄川右岸域の扇状地北端の沖積地に 位置し、東側を八幡川が流れる。地形は、全体的に起伏のない平坦地で、対 象範囲北端の9・10T を設定した地点は一段下がった水田となる。土壌の堆 積状況は概ね一定である。基本層序は上層から順に、1層が褐灰(10YR5/1) 色土、2層が褐灰(10YR6/1) 色土または褐灰(10YR4/1) 色粘質土、3層



が暗褐 (10YR 3/3) 色土または暗褐 (10YR 3/4) 色腐植土層、4層が浅黄 (2.5Y7/2) 色砂質土となる。

1層は現在の水田耕土である。 2層は水田床土及び造成盛土等の人為的堆積層を一括した。 2層によって 田面(1層: 耕土)の水平を調整しているため、層上面は概ね水平堆積となっていた。 3層は自然堆積層で、 下層に位置する4層が深く落ち込む場所ではやや厚く堆積し、弥生時代以降の遺物を包含する。また自然地 形の落ち込み部分では植物遺体を含む腐植土層が散見される。4層は地山で、場所や地表面からの深さによ って色調・性質は若干異なるが、概ね浅黄色系の砂質土である。 4層上面が弥生時代以降の遺構検出面とな るが、耕土直下に4層が現れる場所では、昭和30年代の耕地整理によって削平されているため、遺構の遺存 状況も良好ではない。

(2) 遺構及び遺物 (第6~9図、図版11~15)

調査の結果、島鉾田遺跡・島鉾田南遺跡及び令和2年3月の分布調査で判明した「A」区域の東側を流れ る八幡川沿い、並びに島前田遺跡の南側において、保護を要すべき埋蔵文化財を確認した。

県道井栗谷・大門線の西側に位置する島鉾田遺跡及びその南西に位置する島鉾田南遺跡では、第7図の18 ~ 20 T及び 17·21·23 T及び県道東側の 11 ~ 14 T、島前田遺跡の南側では6~8 Tにおいて遺構・遺物の まとまりを確認している。

18 T中央部で検出した溝では、器形の判る状態で3個体以上の弥生土器の高杯・壺・甕等が出土している。 この溝は 19・20 Tの南端で確認した溝に続くとみられる。

17 Tでもほぼ全域にわたって3層土から弥生土器が出土している。21・23 Tではトレンチ北半分に自然地形 の落ち込みが見られるが、南側の地山が安定した場所では土坑や柱穴状の小土坑がまとまって検出でき、土坑 の一部から弥生土器が出土している。

また、11 Tの南側では1層直下が3層または4層となり、2層はトレンチ北側で現れる。わずかに遺存する3 層や溝・土坑から弥生土器がまとまって出土し、古代の須恵器も少量出土している。

12 Tは部分的に遺存する3層から弥生土器と古代の須恵器が出土し、溝・土坑を検出している。13・14 T では広範囲で弥生土器が出土し、17 Tまで同様な出土状況が続いている。遺構は13 Tの北東側で柱穴状の 小土坑を検出している。

島前田遺跡南側の6Tでは、南北両端に3層が遺存するが、溝を検出した中央部では1層直下が4層となる。 検出した5条の溝のうち、中央部で検出した幅約4.5mの溝の埋土から弥生土器がまとまって出土して いる。 7・8 Tも6 T同様に中央部で弥生土器の出土が見られた。

(3) 調査のまとめ

調査対象地内は、令和3年3月実施の分布調査結果で「島鉾田遺跡・島鉾田南遺跡間において弥生時代の 遺跡の広がりが想定できる。」と報告している。今回の試掘調査では、この想定区域に設定した17~21・23 Tで弥生時代の遺構・遺物を検出し、遺跡の広がりが認められた。

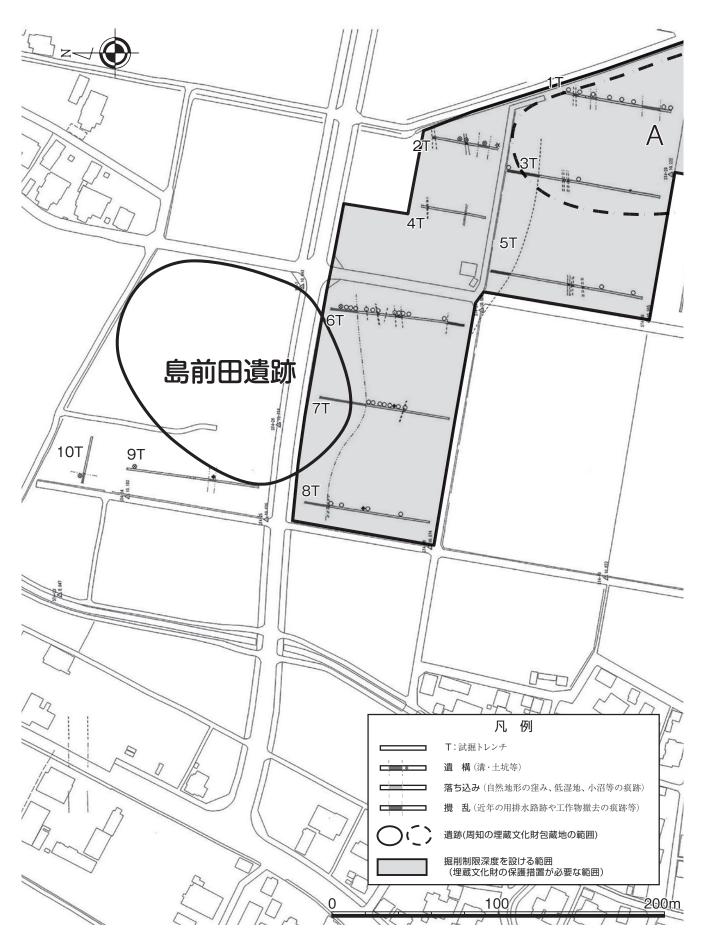
また、分布調査で「新たな埋蔵文化財の広がりが想定されたAの範囲」に設定した $11\sim14$ Tでは島鉾田遺跡まで広がる弥生時代の遺構・遺物が確認できた。

これらの遺跡の広がりは、調査対象地の南東側に流れている八幡川に沿って形成されていたと考えられる。現地形は以前のほ場整備等で平坦になっているが、本来は河川によって運ばれた土砂が堆積し微高地となっていた場所で、そこに弥生時代の集落等が形成されていたことが考えられる。島前田遺跡南側での遺跡の広がりは、6T南端の溝、8T北端で確認した溝まで続くとみられる。

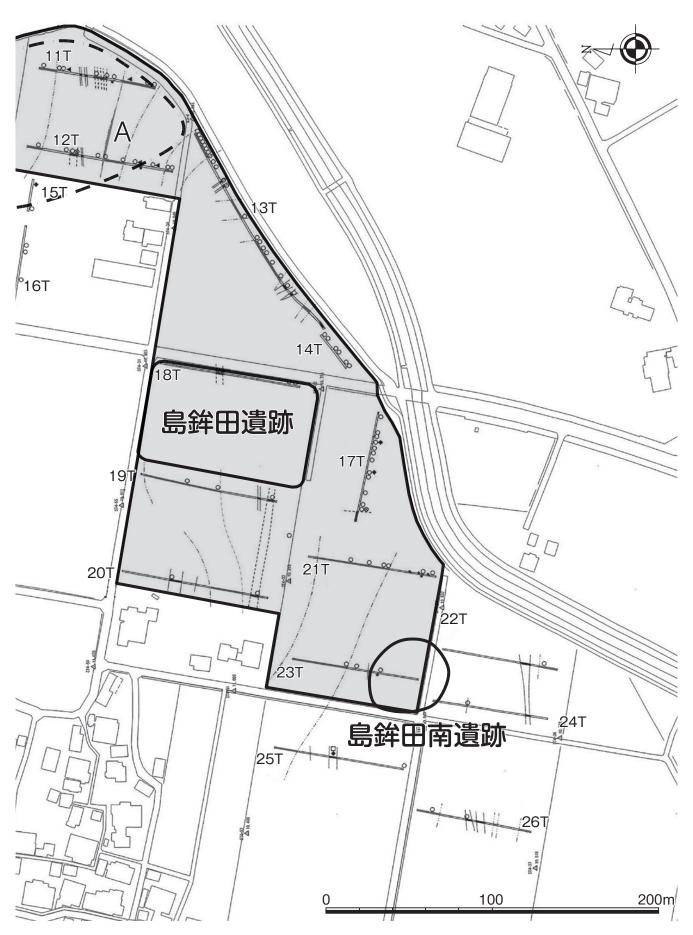
参考文献

田中 明 2022『射水市内遺跡発掘調査報告14-令和2年度射水市内遺跡発掘調査-』富山県射水市教育委員会

高橋 修宏 1982『大門町埋蔵文化財調査報告5:小泉遺跡』大門町教育委員会



第6図 島・上条地区試掘調査トレンチ・検出遺構図〔その1〕



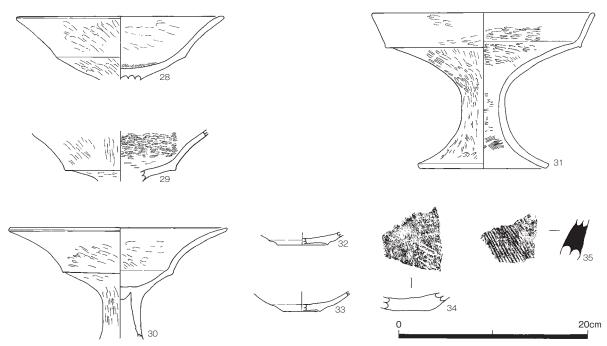
第7図 島・上条地区試掘調査トレンチ・検出遺構図〔その2〕

番号	延長 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物	備考
1	67.6	96.0	弥生溝1、柱穴状ピット2 地形落ち込み2	弥生土器 (壷)	広範囲に弥生土器出土 (島鉾田遺跡隣接地)
2	40.4	53.5	不明溝1、地形落ち込み1 撹乱1	石製品(砥石)、近世陶磁器(越中瀬戸、唐津)	(島鉾田遺跡隣接地)
3	94.7	130.6	弥生溝3、不明土坑1、柱穴状 ピット1	弥生土器 (甕・壷)、中世珠洲 (壷)	(島鉾田遺跡隣接地)
4	39.7	48.2	不明溝1、撹乱1		(島鉾田遺跡隣接地)
5	94.6	120.2	弥生溝3、撹乱2	弥生土器	(島鉾田遺跡隣接地)
6	82.4	97.3	弥生溝5、地形落ち込み1	弥生土器 (壷・甕)、中世珠洲 (壷)、近世陶器	広範囲で弥生土器出土 土器集中出土箇所3 (鳥前田遺跡隣接地)
7	80.6	91.8	弥生溝1、地形落ち込み1	弥生土器 (壷・甕)	(島前田遺跡)
8	77.9	87.0	弥生溝1、地形落ち込み1	弥生土器 (甕)、中世珠洲 (壷)	(島前田遺跡隣接地)
9	81.2	90.5	地形落ち込み1	中世珠洲 (壷)、近世磁器 (伊万里)	(島前田遺跡隣接地)
10	28.8	31.7	地形落ち込み1	近世陶器	(島前田遺跡隣接地)
11	72.2	82.1		弥生土器 (鉢・壷蓋・高坏)、古代須恵器 (坏蓋)	広範囲で弥生土器出土 (島鉾田遺跡隣接地)
12	90.6	102.2			広範囲で弥生土器出土 (島鉾田遺跡隣接地)
13	143.5	173.5	 - 弥生溝2、柱穴状ピット1 - 地形落ち込み4、撹乱5	弥生土器 (高坏・壷・甕)、古代須恵器 近世陶器 (越中瀬戸)	広範囲で弥生土器出土 (島鉾田遺跡隣接地)
14	25.6	29.9		弥生土器 (高坏·壷)	(島鉾田遺跡隣接地)
15	19.7	21.8		弥生土器(高坏)、中世珠洲(擂鉢)	(島鉾田遺跡隣接地)
16	50.8	55.3		弥生土器	(島鉾田遺跡隣接地)
17	68.3	59.7	不明溝1		(島鉾田遺跡隣接地)
18	86.7	77.2		弥生土器 (高坏・壷・甕)	土器集中出土箇所1 (島鉾田遺跡)
19	84.8	72.7	 - 弥生溝1、地形落ち込み:1 - 撹乱1	弥生土器 (壷)	(島鉾田遺跡隣接地)
20	90.6	74.9	 - 弥生溝1、地形落ち込み1 - 撹乱2	弥生土器 (壺・甕)	(島鉾田遺跡隣接地)
21	79.0	64.5	不明土坑4、地形落ち込み2	弥生土器 (甕·高坏)、近世陶器 (天目茶碗)	(島鉾田遺跡隣接地)
22	71.1	60.1	地形落ち込み1、撹乱2	近世磁器	(島鉾田南遺跡隣接地)
23	78.0	62.0	 - 弥生土坑1、柱穴状ピット1 - 地形落ち込み1、撹乱1	弥生土器 (高坏)、中世珠洲 (擂鉢·壷)	(島鉾田南遺跡)
24	70.8	59.3	撹乱2	弥生土器	(島鉾田南遺跡)
25	80.2	65.2	地形落ち込み1、撹乱3	弥生土器、中世土師器(皿)、中世珠洲(壷)	(島鉾田南遺跡隣接地)
26	70.9	66.5	地形落ち込み1、撹乱3	弥生土器	(島鉾田南遺跡隣接地)

第4表 島・上条地区試掘調査トレンチ一覧



第8図 **遺物実測図 (1/4)** 島前田遺跡(1~14) 島鉾田遺跡(15~27)



第9図 遺物実測図 (1/4) 島鉾田遺跡(28~34) 島鉾田南遺跡(35)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	備考	残存量
	1	7 T	弥生土器	蹇	13.9				□1/8
	2	7 T	弥生土器	壷	15.6				□1/4
	3	6 T	弥生土器	壷	18.8				□1/5
	4	6 T	弥生土器	甕	13.6				□1/8
	5	7 T	弥生土器	壷	16.2			口縁外面下端刻み痕、内面三角形刺突文	□1/8
	6	7 T	弥生土器	壷	20.8			口縁外面下端刻み煤付着、内面羽状文	□1/6
	7	7 T	弥生土器	甕			7.4		ほぽ完存
	8	6 T	弥生土器	壷			9.6		ほぽ完存
	9	6 T	弥生土器	壷			7.2		底3/5
	10	8 T	珠洲	壷					破片
	11	7 T	珠洲	壷					破片
	12	8 T	珠洲	壷					破片
	13	3 T	珠洲	壷					破片
第8図	14	3 T	珠洲	壷					破片
	15	2 1 T	弥生土器	甕	16.6			口縁外面煤付着	□3/4
	16	1 8 T	弥生土器	甕	15.8				口完存
	17	1 8 T	弥生土器	甕	18.6	24.0	3.0	外面煤付着	ほぽ完存
	18	1 8 T	弥生土器	甕	19.0			外面煤付着	□1/4
	19	1 8 T	弥生土器	蹇	14.4			外面煤付着	□1/4
	20	1 8 T	弥生土器	甕	16.9				□1/4
	21	1 8 T	弥生土器	小型土器	10.6				□1/4
	22	1 1 T	弥生土器	鉢	15.1				□3/8
	23	1 7 T	弥生土器	壷			5.0		底2/3
	24	1 8 T	弥生土器	甕			2.1		底完存
	25	2 0 T	弥生土器	壷			2.0		底完存
	26	1 8 T	弥生土器	壷			5.0		底1/2
	27	17T	弥生土器	壷			9.2		底3/16
	28	1 8 T	弥生土器	高坏	21.5				坏部完存
	29	2 1 T	弥生土器	高坏	(21.5)				坏部3/4
	30	1 8 T	弥生土器	高坏	22.4				坏部完存
第9図	31	1 8 T	弥生土器	器台	22.9	16.2	13.1		完形
7F J [A]	32	2 T	越中瀬戸	小皿			5.2	内面鉄釉	底1/2
	33	2 T	越中瀬戸	小皿			3.8	内面鉄釉	底3/16
	34	1 2 T	越中瀬戸	擂鉢				内外面煤付着	破片
	35	2 6 T	珠洲	壷					破片

第5表 出土遺物観察表〔島前田遺跡、島鉾田遺跡、島鉾田南遺跡〕

口:口縁部 底:底部

1. 1 T土層断面 (東から)



 3 T全景 (南東から)



3. 3T土層断面 (東から)



図版2 若葉町遺跡(No.2) 試掘調査



 1. 1 T全景 (西から)



2. 1 T遺構検出 (南から)



3.2T遺構検出 (南から)

1. 調査対象地全景 (北から)



 1 T全景 (南から)



3. 1 T土層断面 (西から)



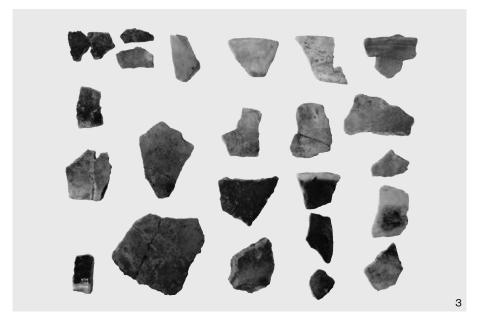
図版4 鷲塚村中遺跡(No.4) 試掘調査



 1. 1 T全景 (西から)



2. 1 T土層断面 (南から)



3. 出土遺物 弥生土器 近世越中瀬戸

1. 調査対象地近景 (西から)



2. 調査状況 (東から)



3. 34T遺構検出 (南から)



図版6 天池B遺跡(No.9) 試掘調査



 調査対象地全景 (西から)



2. **1** T土層断面 (北から)



3.2T全景 (東から)

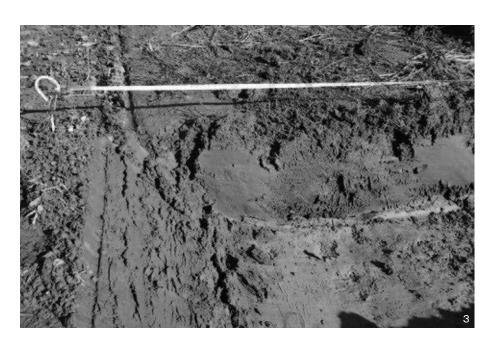
1. 調査対象地全景 (西から)



 1 T全景 (西から)



3. 1 T土層断面 (南から)



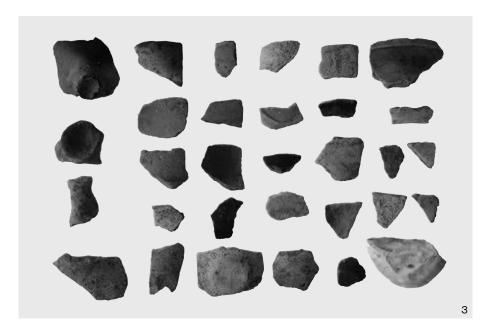
図版8 加茂社遺跡(No.11) 試掘調査



 1. 1 T全景 (北から)



2. 1 T遺構検出 (西から)



3. 出土遺物 弥生土器 磨製石斧

八塚A遺跡(No.12) 試掘調査 図版9

1. 調査対象地全景 (東から)



 2. 2 T全景 (西から)



3.2T遺構検出 (東から)



図版10 五歩一遺跡(No.13) 試掘調査



 調査対象地全景 (東から)



2. 1 T土層断面 (南から)



3. 出土遺物 近現代陶器 不明木製品

島·上条地区 島前田遺跡(No6) 試掘調査 図版11

1. 6 T調査状況 (北から)



 6 T 弥生土器出土 (東から)



3. 7 T 遺構検出 (西から)



図版12 島·上条地区 島鉾田遺跡 (No.7) 試掘調査



 1. 18T全景 (北から)



 18T弥生土器出土 (東から)



3. 19T土層断面 (東から)

島·上条地区 島鉾田南遺跡 (No.8) 試掘調査 図版13

 1. 22T全景 (北から)



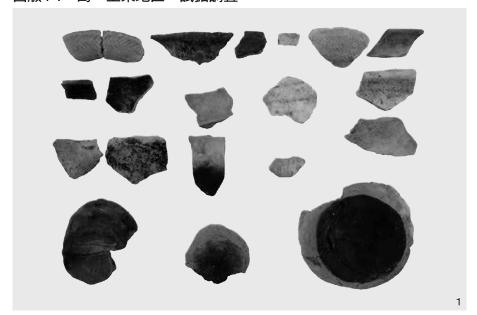
2. 22T土層断面 (東から)



3. 23T遺構検出 (西から)



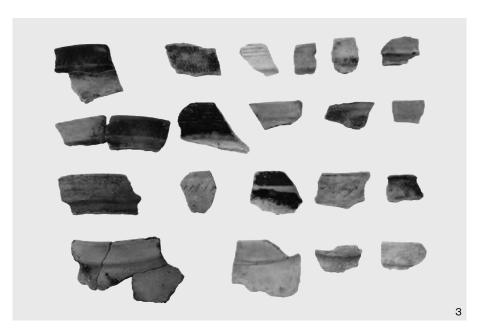
図版14 島·上条地区 試掘調査



1. 島前田遺跡 出土遺物 弥生土器

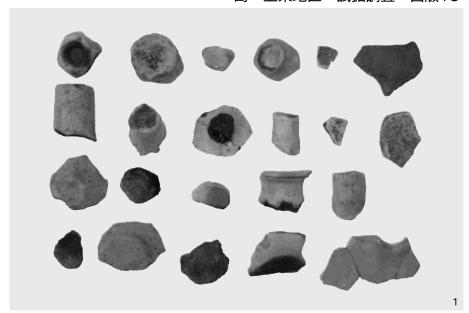


2. 島前田遺跡 出土遺物 中世珠洲 近世陶磁器

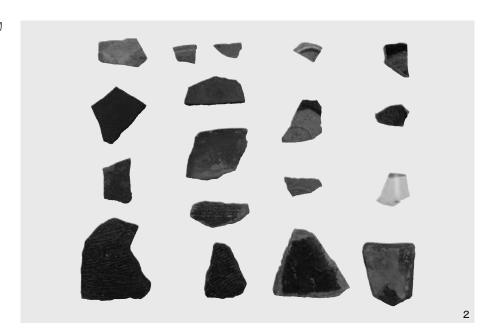


3. 島鉾田遺跡 出土遺物 弥生土器

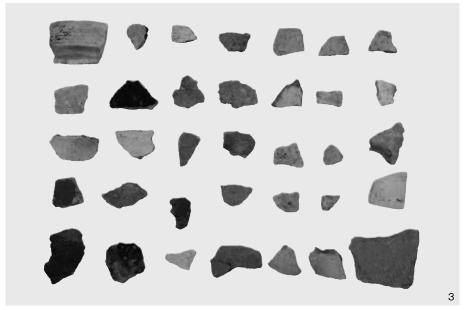
1. 島鉾田遺跡 出土遺物 弥生土器



2. 島鉾田遺跡 出土遺物 古代須恵器 中世珠洲 近世陶磁器



3. 島鉾田南遺跡 出土遺物 弥生土器 中世珠洲 中世土師器



報告書抄録

			報		少 球			
ふりがな)ちょうさほうご -	こくじゅうご			
書 名 副 書 名	射水市内遺跡 令和3年度射							
副 書 名 編 著 者 名	田中 明・原		退奶笼掘	出朔宜				
編集機関	射水市教育委							
所 在 地	〒 939 − 0294		果射水ī	 方新開発 410 番	地 1 Tel 0766 ·	- 51 - 6637		
発行年月日	西暦 2023 年 3							
ふ り が な 主な所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	市町村	- ド 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
いっぽんすぎえー い せき 一本杉A遺跡	りみずしほんまち 射水市本町	211	008	36° 46′ 59″	137° 04′ 44″	令和3年度 20210628	14.6	店舗建設
^{わかば ちょう いせき} 若葉 町 遺跡	かみずし ひばり 射水市戸破	211	089	36° 42′ 56″	137° 06′ 06″	令和3年度 20210629 20220325	13.4 11.8	個人住宅建築 個人住宅建築
いまかいほつ い せき 今開発遺跡	かみずしいまかいほつ 射水市今開発	211	453	36° 43′ 27″	137° 05′ 27″	令和3年度 20210930	52.6	個人住宅建築
かしづかむらなか い せき 鷲塚村中遺跡	りみずしわしづか 射水市鷲塚	211	070	36° 43′ 10″	137° 07′ 26″	令和3年度 20211013	30.0	宅地造成
おきつかはら いせき 沖塚原遺跡	い みず し おきつかはら 射水市沖塚原	211	024	36° 44′ 57″	137° 04′ 25″	令和3年度 20211019 20211020	98.8	市道改良
しままえだ いせき 島前田遺跡	ぃ みず ししま 射水市島	211	367	36° 42′ 39″	137° 02′ 45″	令和3年度 20211026 20211027	398.3	県営ほ場整備
しまほこ た いせき 島鉾田遺跡	かがしま 射水市島	211	373	36° 42′ 29″	137° 02′ 44″	令和3年度 20211025 20211101	1,262.4	県営ほ場整備
しまほこ た みなみ い せき 島鉾田 南 遺跡	かみずししま 射水市島	211	374	36° 42′ 23″	137° 02′ 37″	令和3年度 20211101 20211102	313.1	県営ほ場整備
まいけびー いせき 天池 B 遺跡 あまいけびーかまあと 天池 B 窯跡	い みず し 射水市 みなみたいこうやま 南太閤山	211	170	36° 41′ 41″	137° 05′ 37″	令和3年度 20211116	83.4	保育園建設
かもしゃいせき加茂社遺跡	りみずしさんが 射水市三ケ	211	088	36° 42′ 52″	137° 05′ 40″	令和3年度 20211130	89.9	集合住宅建築
やつづかえー いせき 八塚A遺跡	いみずしゃつづか 射水市八塚	211	447	36° 43′ 36″	137° 03′ 44″	令和3年度 20211117 20211213	18.0 55.8	個人住宅建築 宅地造成
ご ぶいちぃせき 五歩一遺跡	い みず し はしげじょう 射水市橋下条	211	155	36° 41′ 04″	137° 04′ 47″	令和3年度 20220228	70.2	駐車場造成
えぼしがたいせき 烏帽子形遺跡	い みず し ぜんこう じ 射水市善光寺	211	014	36° 46′ 38″	137° 04′ 32″	令和3年度 20220329	35.7	宅地造成
所収遺跡名 いっぽんすぎえー い せき	種別	主な	時代	主な	遺構	主な注	貴物	特記事項
一本杉A遺跡	散布地	古代						
おかば ちょう いせき 若葉 町 遺跡	散布地	古代		不明溝・不明	土坑			
いまかいほつ い せき 今開発遺跡	墓	中世		不明溝				
たしづかむらなか い せき 鷲塚村中遺跡	集落	弥生	 ・中世	弥生溝・不明	 溝	弥生土器・近	世越中瀬戸	
おきつかはらいせき 沖塚原遺跡	散布地	中世		不明溝				
しままえ だ いせき 島前田遺跡	散布地	縄文	・中世	弥生溝		縄文土器・弱 中世珠洲・近	世陶磁器	
しまほこ た いせき 島鉾田遺跡	散布地	弥生	・古墳	弥生溝・弥生	土坑・不明溝	弥生土器・さ 中世珠洲・近	让 世陶磁器	
しまほこ た みなみ いせき 島鉾田 南 遺跡	散布地	不明		弥生土坑・不	明土坑	弥生土器・中 中世土師器	1世珠洲	
study u ti 天池B遺跡 study u n ti b た池B窯跡	散布地・窯	古代						良質な粘土層を 確認
加茂社遺跡	散布地・集落	縄文~	~近世	弥生溝・不明	溝	弥生土器・磨	—— 票製石斧	
やつづかえー いせき 八塚A遺跡	散布地・集落	中世	・近世	不明溝				
ご ぶいちぃせき 五歩一遺跡	散布地	古代						
えぼしがたいせき 烏帽子形遺跡	散布地	古代	,			古代須恵器		
要約	島鉾田遺跡は筆	範囲が南	可側に拡	大し、島鉾田南	両遺跡も加える	結果となった。)	

射水市内遺跡発掘調査報告15

- 令和3年度射水市内遺跡発掘調查-

2023 (令和5)年3月24日発行

編集·発行 射水市教育委員会

 $\mp 939 - 0294$

富山県射水市新開発410番地1

TEL0766 - 51 - 6637

印 刷 株式会社タニグチ印刷

